環境パートナーシップちば

だより

— つながれ ひろがれ —

第１４１号
特定非営利活動法人
環境パートナーシップちば

℡：090-8116-4633
E-mail：info@kanpachiba.com
https://kanpachiba.com/

第26回 エコメッセ2021 in ちば

今年もオンラインでお待ちしています

エコメッセちば実行委員　谷合哲行

エコメッセ 2021in ちば は 2021 年 10 月 16 日(土)10:00 から、昨年同様に完全オンライン形式のイベントとして開催されます今年は SDGs の 5 つの P の分野の中の Prosperity（豊かさ）に着目して、”笑顔あふれる未来を創ろう”テーマに開催準備を進めています。

【出展団体紹介の動画】（2021 年 10 月 16 日 10:00 から１年間閲覧可能）

出展団体の活動紹介動画を１年間にわたって紹介するオンライン出展に多くの団体が動画を寄せていただいています。昨年は提出していただく動画に３分程度という時間制限を設けていましたが、今年は３分単位でより長い時間の動画でも受け入れられるようにいたしました。

昨年から継続して出展していただいている団体もあれば、まったく新しく出展してきた団体もありますので、ご期待ください。

＜エコメッセ HP(「エコメッセ 2021in ちば」で検索）に入り、「オンライン出展団体」の団体名をクリックして動画をご覧ください。＞

【双方向企画】（2021 年 10 月 16 日・17 日）

昨年は当日企画としてオンラインセミナーを開催しましたが、今年は一歩進んで、参加者と出展者が双方向で意見交換できる場を提供する”双方向企画”を２日間に渡って実施します。

◆”SDGs オンライン座談会～1.5℃ライフスタイルをヒントに～”（実行委員会主催）

IPCC が発表した地球温暖化の最新予測なども踏まえて、SDGs の実現のためには多様な人達のライフスタイルの変化が必要であることを座談会形式で語り合います。

◆SDGs ユース企画

“SDGs ユース会議”や“オリンピック特集”、“SDGs 団体インタビュー”などが予定されています。“SDGs ユース会議”では、“水”をテーマに国際的な視点で議論します。その他、複数の出展団体がこの双方向企画に参加しており、オンラインながら参加者とそれぞれの団体関係者が直接コミュニケーションをとれる場になることを目指しています。

◆オンライン双方向交流チャンネル

動画出展する 10 団体が開催し、環境パートナーシップちばも出展団体の一つとして、“ビーチクリーン × ユース SDGｓ × 里山 で未来をめざす”を 17 日(日) 10:00 から実施します。詳細は６ページの「お知らせ」をご覧ください。

これらの双方向企画は全てオンライン会議システムを利用し、参加者からも質疑応答可能な企画となっています。現在、エコメッセちばの HP 上で参加者募集（各チャンネルの定員は先着 100 名 申込締切 10 月 13 日)を行っています。多くの方のご参加をお待ちしています。

出展団体、双方向企画の詳細などやチラシについては、 エコメッセ 2021in ちば のホームページ（ecomesse.com）をご覧ください。

SDGs・ESD をひろげるための”ちば“拠点づくり事業

【開催報告】 第１回拠点づくり会議

■日　時：８月４日（水）13：30～16：30
■場　所： Zoom 開催
■参加者：32 名（市民団体、事業者、行政）
■ファシリテーター：石井雅章氏　神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部　教授
■主　催：NPO 法人環境パートナーシップちば

「SDGs・ESD 公開フォーラム」（７月４日開催）の意見交流会で出された意見を具現化しましょうと、第１回拠点づくり会議参加者を募った結果、35 名の方が手を挙げてくださり、８月４日の会議には 32 名が参加されました。

新型コロナの緊急事態宣言を受けて、急遽オンラインのみでの開催となり、参加者は、地域で活動している環境系・まちづくり系の NPO、ホテル、銀行、デザイン関係の事業者、教員、市民協働課や企画などの行政他、多様な方々でした。内容は以下のとおりでした。

⑴ 自己紹介
所属団体の紹介、地域とのつながり、地域づくりへの思いなど。

⑵ 趣旨説明
2018 年～2020 年までの SDGs・ESD 地域リーダー担い手事業の結果から、持続可能な担い手を育てるためにも、拠点づくりが必要と言えること。

⑶ 拠点づくり会議（３回開催）の主な協議内容（予定）
・第１回（８月）：拠点づくりの意義と地域の声を聴く
・第２回（11 月）：ありたい地域を実現するためのアイディアの検討・整理
・第３回（３月）：拠点の機能、運用方法の検討・整理（拠点設置）

⑷ 拠点づくりワークショップ

ファシリテーターの石井氏が、参加者を６グループに分けて、ブレイクアウトルームでの話し合いを２回開催し、それぞれのルーム内では活発な意見のやり取りが行われました。

【テーマ①】 持続可能な社会という視点から考えたとき どんな地域でありたいですか？

意見：
「子どももたくさんいて、にぎやかな声が聞こえる街」
「都市部と南部のギャップをなくす」
「自然・体験ができる地域」
「多様な人を受け入れる」
「都市部に行っても帰ってくる所」
「地域と交流できる」
「子どもたちが暮らしていける街」

【テーマ②】ありたい地域イメージと比較して、現在はどのような状態ですか？
【テーマ③】 ありたい地域イメージに近づくため、どんなことアクションができそうですか？
（※②と③のテーマは、テーマ①と同じメンバーで、２つ一緒に意見を出し合いました。）
意見：
「過疎化・高齢化が深刻な問題→移住者・地元をつなぐことが重要」
「県南は自然も豊かであると思う→環境を守り、自然と共生すること、開発のバランスがあるといい」
「新住民と地元がつながりにくい→U ターン組だと、地元の良さもわかるし、新住民の気持ちもわかるので、つなぐ人になりたい」
「自然の豊かさを資源にして経済がまわる南房総であって欲しい→「ジビエ」の利用」
「過疎化などで居住人口は減っているが、関わり人口を増やす工夫をする」
「豊かさの基準、ものの価値観など考える」

以上、いろいろな視点で、ありたい地域への意見が多く出ました。
これらをふまえて、次のテーマ「ありたい地域イメージに近づくため、 この拠点でどんなことができたらいいですか？」は、各自の宿題となり、第２回の会議で協議します。

（文責：桑波田 和子）

「ひろげる人づくり～SDGs ちばユース活動発表会に向けた活動」

事業企画運営 ユースチーム　山内 可奈子

NPO 環パちばが主催する、SDGs・ESD をひろげるための”ちば“拠点づくり事業の一環として、2021 年６月の企画運営会議からスタートした「SDGs ちばユース活動発表会」に向けた活動は、10 月 17 日のエコメッセちばでの発表を目標に、夏休みを利用した「地域づくりボランティア体験」を企画しました。

まず、地域づくりをしている団体に「地域づくりボランティア体験交流会」の協力とプログラムの提案をお願いし、夏休み前にユースに向けた参加募集を行いました。団体共通の悩みである「参加者募集方法」に悩みながら、募集チラシの作成や web サイトへの投稿を行いました。

コロナ禍のため延期になったプログラムもあったことから、ご協力いただいた７つのプログラムのうち 2 つが延期になってしまいましたが、10 名のユースに参加いただきました。ユースが参加したプログラムには、すべてにチームメンバーも参加し、報告書を作成したほか、受入団体、参加したユースにアンケートをとりました。報告書にはプログラムの概要、詳細な実施内容、写真の他、団体やユースからのヒアリング内容をまとめ、今後作られる拠点の役割や求められていることの把握に努めました。概要は表のとおりです。

団体やユースをつなぐ一助になればとの想いで進めた企画ですが、参加してみると、それぞれに工夫されたプログラムに刺激と感動があり、いっそうこの取組を広げていきたいと感じました。

10 月 17 日の「SDGs ちばユース活動発表会」では、この企画に参加いただいた団体・ユースの皆様に参加いただき、プログラムの内容を報告するとともに、「・地域づくりと未来・サステナブルにする・自分事」などをテーマに意見交換を行います。

「地域づくりボランティア体験」の実施状況

イベント名	夏休みの宿題応援！「SDGs×探究塾 boccs」ワークショップ	まちづくりインターシップ@SDGs スクラム	プラスチックごみアートから持続可能な海を考える	南房総の里山で古民家の改修や畑つくり、裏山を開拓しよう	GOGO ボランティア～ ゴミ拾い＆プラスチックごみアートから持続可能な地域環境を作って行く ～
主宰団体	探究塾 boccs	ＡＮＥＳＡＫＩ ＡＣＡＤＥＭＹ	浦安三番瀬を大切にする会	シェア里山「ヤマナハウス」	プロデザインスタジオ
開催日時	8／27(金) 13:30～14:30	８／１(日),７(土) 11(水),14(土), 28(土)	８／１(日) 9:00～13:00	８／8(日) 11:00～16:00	8／21 (土) 9:00～12:30
場所	岩井駅前交流拠点 boccs	姉ヶ崎駅西口周辺、上総鶴舞、ZOOM 等	浦安三番瀬護岸 三番瀬環境観察館	南房総市三芳のシェア里山「ヤマナハウス」	稲毛海浜公園ビーチセンター前
参加者	ユース　０名 小学生６名とその保護者 計 14 名	ユース １ 名（大学生） 大人９名 計 10 名	ユース 16 名（大学生２名、高校生 14 名）小学生 １ 名、大人 13 名 計 30 名	ユース１名(高校２年生) 大人 12 名 計 13 名	ユース5名　（大学生３名、高校生２名） 大人２名 計　７名
実施概要	夏休みの自由研究 くじらをテーマに、生物多様性、マイクロプラスティックなどの環境問題を解説 子供たちのふりかえり発表	市民主導のまちづくりの一環として「姉ヶ崎西口未来予想図」を仕上げることを目標に、インターン生を募集。竹林コンサート、市原市拠点形成推進課との合同インターシップ（グリーンインフラの可能性などの検討）　を実施	・浦安日の出三番瀬護岸のゴミ拾い ・ワークショップ「プラごみアート」 ・ミニ講座「データサイエンスで海洋ゴミ回収」 の３テーマで構成し実施	ヤマナハウス（古民家）をベースに里山づくりの作業体験をすることを目的としてイベントを開催したが、大雨のため古民家の天井裏体験、カードゲームなどで懇親。 天候回復後、道路、畑などの草刈りを実施	マイクロプラスチックの環境汚染について説明し回収の意義を説明 稲毛海岸の護岸のプラゴミ拾い 稲毛海浜公園でプラごみアートを実施

SDGs・ESD をひろげるための”ちば“拠点づくり事業

開催報告　第２回・第３回 企画・運営会議

SDGs・ESD をひろげるための“ちば”拠点づくりの事業を展開するために、7 つの事業チームが事務局と連携し、チームの進捗報告、チームからの提案、協議、決定する場として、2 か月毎に開催しています。今回は、第２回・第３回（いずれも Zoom 開催）の報告となります。

■日時
第２回：2021 年７月 22 日（木）
20：00～22：15
第３回：同年９月 16 日（木）
20：00～21：30

■参加者　第２回：20 名　第３回：17 名

■内容
第２回：
- 事務局：SDGs・ESD 公開フォーラム（7/4）開催報告
- 各チームから：ユースボランティア体験活動募集開始/　学校との連携：各自の活動の中から連携を探っている/　ESD プログラム体験会：9/7 実施に向けて準備/　公開セミナー（10/3）/　拠点づくり会議：会議の方向性の検討。他

第３回：
- 事務局：第 1 回拠点づくり会議（8/4）報告 Zoom 参加者：32 名
- チーム：ユースボランティア体験活動（夏休み期間、５か所、１０名（参加）→10/17 SDGs ちばユース活動発表会に向けて準備/　学校連携は、いすみ市で実施能/　ESD プログラム体験会（11/7：オンライン開催、11/28：安馬谷　バス使用）開催予定/　ESD 地域リーダー実施報告の共有を図る/　公開セミナー開催（10/3　オンライン）参加者募集など準備/拠点の HP づくりは、地域性、関係者等今後も検討。

以上のように各チームでは、事業を展開していくために、チーム間でオンライン会議、メールなど活用して進めています。コロナ禍でリアルに集まることができにくく、オンラインが主となりますが、遠方から参加しやすいなど、メリットも少しはあるようです。思いを共有することが活動の秘訣と再認識しています。　（文責：桑波田和子）

ESD-J第3回オンラインセミナー

「プラスチックごみ問題とSDGs/ESD」報告

私が浦安で20年活動している三番瀬の海岸清掃活動で、長年の課題になっている小さくなったプラスチック片。なかなか手強い相手のプラスチックです。浦安の海の現状は、海に囲まれた日本、世界の課題です。

今回ESD-J（環パちばも会員の団体です）主催のオンラインセミナー「プラスチックごみ問題とSDGs/ESD」に参加させていただきました。

環境省環境再生・資源循環局より**「我が国におけるプラスチック資源循環施策の動向」**のお話では、日本は2019年のG20議長国として、各国が連携して取りまとめた「海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」が効果的に促進される具体的な取組になるように、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が今年6月公布され、施行に必要な事項が検討されているとのことでした。

サントリーホールディングス株式会社よりの**「サントリーグループのプラスチック基本方針」**についてのお話は、化石由来原料の新規使用ゼロの実現に向けた取り組み、ペットボトル軽量化の取り組み、素材領域におけるイノベーションの積極投資、意識醸成と社会啓発という内容でした。

この後の参加者との意見交換のファシリテーターの福井様からは、プラスチックごみに関する課題は、リサイクルをめぐる課題や海洋投棄の問題、マイクロプラスチックの問題など多岐にわたっていて、プラスチックごみに関する問題の解決には、特に消費者、市民の意識と行動がカギを握ること、またそのために ESD が重要であることを改めて認識したとのお話。「認識から行動へ」のお話では、正しく状況を認識し、情報を伝える事やより良い商品を購入するなども含め、一人一人が行動に移していくことが期待されているとのお話を、今後の活動で伝えていきたいと思いました。

三番瀬クリーンアップ活動

（文責：横山 清美）

千葉市生浜公民館「ふりふり石けん作り」

令和３年８月３日､子ども向けの夏休み講座として、千葉市生浜公民館でリサイクル工作「ふりふり石けん作り」を実施しました。家庭から出た廃食油を使って石けんを作る実験です。公民館からは、昨年はコロナで中止になったので今年はぜひ実施したい！とご希望をいただき、十分に気を付けた上での開催となりました。募集人数を約半分に減らし、小学３年生～5 年生の 13 人が集まりました。申込定員はあっという間に埋まったそうです。環パからは講師の数も減らし、廣田・小倉の２名で対応しました。

これまでは、作り方は目の前で見せ、子どもたち同士が協力し合って作っていましたが、近づいて密になるのを避けるため、昨年から説明にパワーポイントを活用しています。

石鹸作りは、薬品を水で溶かし、油をまぜてシェイクすること 20 分。その後、乾燥させて固形石鹸の出来上がりです。言葉にすると簡単ですが、実際に作るのは緊張の連続で、子どもたちは薬品の取り扱いの注意もよく守り、真剣そのもので作っていました。

しかし私たちが石けんを作ることで伝えたいのは工作ではなく「ごみを減らす、資源循環の取り組み」「家庭雑排水など、水環境の保全」です。「水と油が混ざらない？混ざる？」実験では、せっけん（界面活性剤）が汚れを取る仕組みを観察してもらいました。また、揚げ物などで傷んだ油を捨ててしまってはもったいないということも、よくわかってくれたと思います。

子どもたちは、薬品を使って「実験」して、自分の手でせっけんが作れたことで、とてもうれしそうな様子でした。

この機会を与えてくれた生浜公民館のみなさまに深く感謝申し上げます。

（文責：廣田 由紀江）

千葉市緑が丘公民館 リサイクルクラフト「貝殻のアクセサリー」

2021 年８月 19 日に緑が丘公民館の夏休み講座として、桑波田・小倉が貝殻を使ったアクセサリー作りを担当しました。参加者 14 名の全員が女の子で、主に小学校低学年でした。

密にならないような座席配置で、会話は最低限に、モノの貸し借りはしない、などのコロナ対策には細心の注意を払い、材料はすべて事前に１人分ずつ分けておきました。また、器具の貸し借りをしないために、事前に貝殻に穴を貝殻に孔を開けるなどの下準備も行っておきました。下準備をして下さった中村明子さんに感謝します。

まずは桑波田さんが「SDGs って知ってる人？」と質問したところ、小さい子たちはきょとんとしていましたが、一人の３年生の女の子がさっと手を挙げて説明を始め、ゴールの 14 と 15 のことまで話してくれました。今どきの子どもって、本当にすごいです。この日の材料は貝殻ですが、森は海の恋人、すなわち海と森がつながっているということを伝えることが目的でしたので、まさにゴール 14 と 15 だったのです。

材料の貝殻はアサリ。アサリを使って、２種類のストラップと首飾り（またはブレスレット）を作りました。ビーズを通しやすいように使ったテグスを結ぶのに苦労した子が多かったのが予想外でした。「結ぶ」というのが未経験の子どもも何人もいたのです。公民館講座に参加してくれるのは小学校低学年・中学年の子どもが多いので、小さい子供でも一人で作れるような内容にもう一工夫が必要と反省しました。

でも、ビーズやきらきら光る小さな星やハートをちりばめて作った my ストラップや my ブレスレットに子ども達は大満足で、小さな袋に入れて大事そうに持って帰りました。

（文責：小倉 久子）

運営会議報告

８月度運営会議

８月１２日（木）１０:00～１２:00
会場：オンライン（Zoom）

【報告】
- 印旛沼環境基金事業変更
- 地球環境基金事業　・公民館(自主事業)
- エコメッセ 2021in ちば臨時総会
- だより 140 号発送
- 千葉市民活動支援センターよりの依頼　他

【協議】
- エコメッセ出展募集
- 印旛沼環境基金事業対応
- 千葉市公民館講座
- だより 141 号構成　他

９月度運営会議

９月９日（木）13:30～16:20
会場：オンライン（Zoom）

【報告】
- エコメッセオンライン出展申し込み
- 地球環境基金事務局会議　8/17
- 千葉市公民館講座　8/19
- 10/3 公開セミナーチラシ及びニュースレター２号発送

【協議】
- エコメッセオンライン出展
- だより 141 号進捗
- 会員定例会開催　・会員メルマガ　・IVUSA
- 印旛沼環境基金事業　・ちば環境再生基金事業
- ちば環境再生基金事業　・地球環境基金事業
- 新宿公民館自主講座 9/17　他

お知らせ

ユース発表交流会 2021in エコメッセちばで開催！
ビーチクリーン　×　ユース SDGｓ　×　里山　で未来をめざす
ユースとの交流に参加しませんか！

いま千葉の地域づくり団体が熱い！各地で様々な活動がくりひろげられ、大いに盛り上がっています。ユース発表交流会で「ユース SDGs」「ビーチクリーン」「里山」そして「地域」を取り上げます。
夏休みに県内の団体でボランティア体験活動したユースと受け入れ団体による発表、千葉県内で NPO 法人として活躍する順天堂大学生の「**子ども×地域　自然体験イベントをとおして得たもの**」発表、山陽学園中・高地歴部の 「**SDGs 啓発活動～問題を「自分事」として捉える実践への挑戦**」の発表など、全国のユースの仲間が集まります。サステナブルな未来をどう作っていくか？ を「全員参加の交流」であなたもユースと共に考えましょう！

2021 年１０月１７日(日)　１０：00～１２：30

会　場： エコメッセ 2021in ちば Zoom（双方向企画）
定　員： １００名　(事前申し込み必須)　　**参 加 費：** 無料
主　催： 特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば
参加申込み方法：登録フォームからお申し込みください。その後 Zoom の案内が届きます。
https://www.ecomesse.com/interactive-kanpa
申込締め切り日：10 月 13 日（木）
問い合わせ先：info@kanpachiba.com までご連絡ください。

「特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば」

環境活動の推進と充実を図るため、市民・団体・企業・行政・学校とのパートナーシップのもと、「持続可能な開発に向けた目標(SDGs)」や「持続可能な開発のための教育(ESD)」の視点を意識して、さらなる持続可能な社会の実現をめざすことを目的とする。

お問い合わせ
事務局：〒262-0006　千葉市花見川区横戸台 21-13　特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば
Tel　：　090-8116-4633　　E-mail：info@kanpachiba.com
ホームページ：https://kanpachiba.com/
※会費や会員申し込みなどの情報は上記 ＨＰでご確認ください。